

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和6年7月1日現在）

法人名	神奈川県道路公社						
設立年月日	昭和46年10月30日	代表者名	理事長 田中 和久				
所在地	横浜市中区山下町1番地		電話番号	045-479-7755			
基本財産等	10,781,000,000	円	県出資額	10,781,000,000	円	県出資率	100.0 %

2 法人運営における現状の課題

- ① 計画的な道路施設等の維持修繕への対応
橋梁・トンネル等の道路施設の老朽化が問題視され、トンネルや道路橋などを、5年に1回の頻度で点検することが義務化され、計画時点では想定していなかった新たな費用負担が生じている。
このため、定期点検による状態把握及び予防的な修繕を着実に進め、道路施設の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図ることで、道路の安全性・信頼性を確保していく。
- ② 「ETCGO」の順次導入
利用者サービス向上のため、ネットワーク型ETC技術を活用した「ETCGO」を三浦縦貫道路で運用開始するとともに、逗葉新道及び真鶴道路においても導入に向けた準備を進めていく。
- ③ 経営基盤の強化
今後の少子高齢化の進展による通行車両の減少に伴う収入減の中においても、自然災害等の不測事態にも対応できる経営基盤の強化を図る。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	5年度自己評価
1	安全・安心を確保する計画的な維持修繕工事の実施	百万円	448 (703)	837 (573)	(801)	(822)	(774)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和4年度から5年度に繰越した工事については完成するとともに、予定していた令和5年度の工事についても概ね完了した。				利用者の安全・安心を確保するため、計画的に維持修繕工事に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	5年度自己評価
2	「ETCGO」の順次導入	百万円	266 (614)	27 (420)	(138)	(138)	(138)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	管理3路線への導入については、電設資材の調達難の影響等により、全体の導入計画を見直した。 なお、逗葉新道へのETC機器設置工事については、工事請負契約は締結したものの支出をしていないため、実績数字には現れていないが、令和6年度に完成予定である。				管理3路線へ「ETCGO」を順次導入し、利用者の利便性の向上を図る。			
	備考							

・ 公社管理駐車場の一箇所に、既存ETC機器を活用し、令和5年度に設置した（令和6年度に運用開始）。
・ 「ワンストップ型ETC」は、令和5年度に「ETCGO」に変更した。

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	5年度自己評価
1	有料道路通行料金収入	百万円	1,618 (1,634)	1,656 (1,631)	(1,629)	(1,622)	(1,616)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルス感染症の収束により概ね達成できた。 また、三浦縦貫道路と真鶴道路において周辺集客施設とタイアップした利用促進イベントを実施した。				想定される通行台数の漸減傾向に対し、今後も地域と連携した利用促進等を進め、目標達成に努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	5年度自己評価
2	駐車場料金収入	百万円	289 (284)	331 (292)	(296)	(296)	(296)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルスの感染症の収束により大仏前駐車場における大型バスの利用が増加したこと、県普通財産の有償貸付を受けている駐車場の料金体系を見直したことなどから、目標を達成できた。				今後も地域と連携した利用促進等を進めることにより、目標達成に努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	5年度自己評価
3	年度末資金残額	百万円	885 (597)	987 ※ (824)	(867)	(878)	(901)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和3年度末の資金残額が想定より上回っていたため、5年度末資金残が目標を上回った。 ※ 繰越し工事等429百万円を除く。				収入増に向けた取組みや適正な執行等により、経営の効率化を図っていくとともに、災害時に備えた体制づくりに努めていく。			
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

令和5年度決算では、収入は、予算額に対し有料道路通行料金収入で101.5%、駐車場料金収入で102.9%と目標を達成することができた。

支出は、令和4年度からの繰越工事は完成し、予定していた令和5年度の工事についても概ね完了した。また、「ETCGO」については、管理3路線への導入について、安全性・確実性を確認しつつ、計画的に取り組んでいくこととしており、逗葉新道については2か年の債務負担にて契約を締結し、機器設置に取り組んでいるところである。

年度末資金残高については、計画策定時の想定より令和3年度末の資金残高が上回っていたこともあり、目標を達成できた。

5 取組実績等についての総括（所管課）

・有料道路通行料収入等について目標を達成しており、年度末資金残額についても計画を上回る状況となっている。

・また、安全・安心を確保するための維持修繕工事についても、計画的に取り組まれている。

・今後も、ネットワーク型ETCの導入を着実に実施するなどして、利用者サービス及び安全・安心の向上を推進していただきたい。